

- 問1 中京工業地帯の出荷額の内訳において、機械工業、特に輸送用機械（自動車など）の占める割合が非常に高い背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
1. 伊勢湾沿岸は水深が浅く、大型船の入港には適さないが、その分内陸輸送のための高速道路網が他地域より早期に完成したため。
 2. 中京地方は古くからアルミニウムの原料が豊富に採掘されたため、車体を軽量化するための金属加工技術が独自に発展したため。
 3. 豊田市を中心に、自動車の組み立て工場と膨大な数の関連部品工場が狭い範囲に集まり、効率的な生産ネットワークが形成されているため。
 4. 四日市市を中心とした石油化学コンビナートが日本最大の規模を誇り、そこで生産されるプラスチックがすべての自動車部品の原料となるため。
- 問2 中部地方に位置する、ある県の産業と地理的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。なお、この県は、県内の鉄道営業距離が295 km、県庁所在地の人口が約27万人という統計資料が得られる地域です。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 日本最大の砂丘である鳥取砂丘があり、梨の栽培などの農業が平野部で盛んに行われている。
 2. 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。
 3. 兼六園に代表される歴史的な景観を持ち、金箔や漆器などの伝統工芸品の製造が盛んである。
 4. 立山連峰を望む富山湾に面しており、豊富な水資源を利用したアルミニウム工業が発達している。
- 問3 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。
 2. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。
 3. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。
 4. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。
- 問4 標高3000メートル級の山々が連なる日本アルプスは、日本の冬の気候に大きな影響を与えています。この地形がもたらす気候への影響について、最も適切な説明はどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 山脈の間を吹き抜ける風が弱まるため、中部地方の内陸部では冬でも湿度が高く維持される。
 2. 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。
 3. 標高が高いため一年中気温が変化せず、周辺の平野部に常に安定した温暖な気候をもたらす。
 4. 季節風を完全に遮断するため、日本海側と太平洋側の両方において冬の降水量が極端に少なくなる。
- 問5 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。
 2. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。
 3. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間で、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。
 4. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。
- 問6 名古屋港の輸出品目の特徴と、その背景にある地域の産業状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯の自動車産業が集積しているため、自動車や内燃機関の輸出額が突出して高い。
 2. 京浜工業地帯の化学工業が発達しているため、石油製品や医薬品の輸出額が最も多い。
 3. 周辺にIC（集積回路）工場が多数進出しているため、電子部品が輸出の過半数を占めている。
 4. 航空宇宙産業の世界的拠点であるため、航空機類の輸出額が自動車を上回っている。
- 問7 北陸地方において、耕地面積に占める田の割合が80%を超えるほど高い水準にあり、米の単作地帯が形成されている主な理由として、気候的な側面から説明したものを選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 冬に多くの雪が降るため、冬の間は田畑を利用した農作業が困難になるから
 2. 冬でも温暖な気候を利用して、米の二期作を行うことが一般的だから
 3. 年間を通じて降水量が極端に少なく、水田以外の作物の栽培に適さないから
 4. 夏に台風の被害が多く、畑での野菜栽培よりも稲作の方が安全だから
- 問8 静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。
 2. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。
 3. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
 4. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。
- 問9 中部地方にある都市の気候統計において、12月から1月にかけての月降水量が300mmを超え、冬に降水量のピークがある地域で見られる気候区分として、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 太平洋側の気候
 2. 日本海側の気候
 3. 中央高地の気候
 4. 瀬戸内の気候
- 問10 諏訪盆地における工業の歴史的な変遷と、現在の状況について述べた説明として、正しいものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
1. 明治時代に盛んだったパルプ・製紙業から、戦後は石油化学工業へと転換し、現在はプラスチック製品の出荷額が全国有数である。
 2. 明治時代に盛んだった綿糸の製造から、戦後は重化学工業へと転換し、現在は輸入した鉄鉱石をもとに大規模な製鉄が行われている。
 3. 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。
 4. 明治時代から一貫して輸送用機械の製造が盛んであり、現在は広大な平坦地を利用した自動車の組み立て工場が集積している。
- 問11 日本列島の中央部に位置し、日本海に面したある県について、統計資料において「米の収穫量が全国1位」であり、かつ「県内に越後平野が位置する」という特徴があります。この県として正しい名称を選びなさい。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 秋田県
 2. 新潟県
 3. 北海道
 4. 山形県
- 問12 四日市市などの工業都市を擁する三重県の工業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 伝統的な繊維工業が、現在でも県全体の工業出荷額の過半数を占めている。
 2. 出荷額において、パンや清涼飲料水などの食料品工業が最大の割合を占めている。
 3. 高度な技術を要する印刷業が、重化学工業の出荷額を上回る規模で成長している。
 4. 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。